

形原かるたをつくろう！

今年、地域の方たちが「形原かるたを楽しむ会」を立ち上げました。形原の歴史・文化・産業・観光等を題材にした「形原かるた」をつくることで、地域の良さを再発見し、地元を盛り上げることを目標に活動しています。そのために、地域の子どもからお年寄りまで、多くの世代に作品募集をかけました。

このかるたづくりにはたくさんの小中学生が参加しています。その活動を紹介します。



かるたを制作中の形原中の生徒たち

形中

8/9(日)形原公民館で「形原かるたを楽しむ会」が開催され、形中生が形原かるたの制作を行いました。

4回目の今回は、かるたの読み札や絵札を作る実践編でした。形中生は1年生から取り組んでいる総合の授業で得た情報や知識をもとに読み札をつくりました。

「太陽の家」「あじさいの里」「岩上神社」などを題材に、「このテーマはいいね！」「この言葉はもう少し言い換えたほうがよさそうだね」と地域の方にアドバイスをいただきながら、読み札を完成させていました。また、最後には形原伝統の菓子まきで、盛り上がりました。



形北小伊藤校長による書き方講習

形北小

形北小6年生は、夏休みの課題として、自由参加で「形原かるた」に応募をしました。また、形北小伊藤校長先生が、公民館で開催された「形原かるたを楽しむ会」で書き方講習をおこないました。

形小5年

7/9(木)、形原小5年生が、「形原かるたを楽しむ会」の方々をお迎えしました。

形原〇×クイズやかるた取りをおこない、形原を題材にしたかるたづくりについて学びました。子どもたちは「字札」「絵札」を作って『形原かるた』の募集に応募しました。



形原小5年生対象のかるた制作講習

形中

小学生ポスター教室ボランティア



7/22（水）・25（木）の2日間、形原公民館で「小学生ポスター教室」が開かれました。そこに形中生4名がボランティアとして参加し、小学生にポスターの描き方や色の付け方などを教え、夏休みの宿題のサポートをしました。

小学生が「この手のかたちはどうやって書くの?」「イラストの描き方を教えて」と聞くと、中学生は紙に書いてやさしく教えていました。

最初は不安だったけど、やってみたらとても楽しかったです。かかわったことがない人とたくさん話せたり、子どもたちが声をかけてくれたりしてうれしかったです。ポスター教室のボランティアをやってよかったです。

（生徒の感想）

形中

保育園で絵本読み聞かせボランティア

夏休みの4日間、形中生のべ17名が形原保育園を訪れ、園児のみなさんに絵本の読み聞かせを行いました。

生徒たちは、事前講座で学んだことをもとに自主練習を重ねて本番に臨みました。

園児が見やすいように絵本を体の横に持ちながら、反応を見てゆっくりページをめくったり、迷路の絵本では園児と一緒に考えながら進めたりするなど、工夫を凝らして絵本の世界を届けました。

園児たちは、絵本の絵を指さして興味を示したり、登場人物の行動に対して「そうだよ」「そうじゃないよ」と思わず声を出したりするなど、物語の世界に引き込まれていました。そんな素直な反応が、生徒たちにとっても印象に残ったようです。

また、1歳から5歳までの幅広い年齢のクラスで読み聞かせを経験したほか、運動会の練習のお手伝いをするなど、例年とは違った貴重な体験をすることもできました。

参加した生徒からは、「もう1回読んで!!と言われて嬉しかった!」「興味をもってもらえそうな絵本を選んだので、喜んでもらえてよかった!」「『一緒に遊ぼう!』と声をかけてくれる園児たちがとてもかわいかった。また遊びに来たい。」といった感想が聞かれました。

今後の職場体験や進路学習にも生かせるよう、これからも活動していきます。形原保育園のみなさん、貴重な機会をつくっていただき、本当にありがとうございました。

【文責 形原地区地域コーディネーター 櫻間寿人】

